



10周年記念誌 2017



筑波大学出版会
University of Tsukuba Press

筑波大学出版会



目次

出版会代表あいさつ	2
出版会運営委員会委員長あいさつ	3
出版会のあゆみ	4
関係の方々からのメッセージ (敬称略)	
運営側から	7
吉武博通 (名誉教授 出版会設立準備室室長)	
谷川彰英 (名誉教授 初代出版会運営委員会委員長)	
石隈利紀 (名誉教授 前出版会運営委員会委員長)	
伊藤純郎 (人文社会系教授 前出版会運営委員会副委員長・編集会議編集長)	
松本浩一 (図書館情報メディア系教授 現出版会運営委員会副委員長・編集会議編集長)	
岡部幸祐 (学術情報部長)	
執筆されたの方々から	10
松倉公憲 (名誉教授)	
中村 徹 (名誉教授)	
塩尻和子 (名誉教授)	
松井圭介 (生命環境系教授)	

刊行書籍案内

筑波大学出版会代表あいさつ

筑波大学長 永田恭介



10周年を迎えた出版会

筑波大学出版会は、先端的、独創的な研究の成果を発信し、筑波大学の研究とその成果の発表を助成するとともに、筑波大学の多様な知をわかりやすい形で社会に普及することにより、もって、わが国の学術文化の振興に寄与することを目的として平成19年7月に設立され、10年が経過しました。

「筑波大学の知の発信」として、この10年の間に出版された書籍は、43タイトルとなり、おかげさまで版を重ねる書籍も出て、多いものは4刷となっています。また、昨今の出版形態の多様化に対応し、これまでのオフセット印刷版に加え、電子書籍やプリント・オン・デマンド(POD)版による書籍も発行しています。特に、iBooksストアから発売している『ダイナミック手術テキスト肝臓編』は、これまでのテキストにはない画期的なもので、本学3D-CGバーチャル手術プロジェクトの成果によるものです。

一方で、出版不況、特に学術出版は厳しい状況にあるといわれる中、当出版会も同様に厳しい運営を迫られていることも事実です。大学出版会として、収益性の面から書籍になりにくい学術書の刊行助成も必要なことではありますが、大学の財政負担を出来るだけ少なくするための工夫がより重要になっています。制作費等のコストダウンを図ることで書籍単価を抑えた購入しやすい書籍とすることや出版形態の多様化への対応はもとより、購読者の購入方法への変化に対応した広報活動や情報収集などもさらに積極的に行っていく必要があります。

この10年という節目を機に、設立時からこれまでの状況を振り返り、また出版形態の将来についても熟慮し、筑波大学の創意あふれる研究成果の発信を継続できる出版会であり続けるための努力を続けて参ります。

末筆となりますが、これまで出版会に携わってこられた方々に感謝申し上げますとともに、今後も学内、学外の関係者の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

筑波大学出版会運営委員会委員長あいさつ

筑波大学副学長：学術情報担当 西川博昭



出版会の今後に向けて

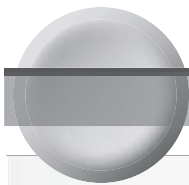
Marshall McLuhan は、その著書「UNDERSTANDING MEDIA The Extensions of Man」において、「メディアはメッセージである」と定義しています。一般に、メディアというと何よりもそのコンテンツが重要であり、メディアはその内容を伝える手段でしかないと考えられていますが、この定義は、メディアのコンテンツであるメッセージと同様、場合によっては、その形式であるメディアの方が受容者により大きな影響を与えるメッセージを送る結果となることを示唆しています。また、この定義は、「情報を伝達するメディアそのものがまた情報である」とも解釈でき、同等の情報が与えられたとしても、その情報を伝えたメディアによって、受容者が情報に対して得る感覚が異なることを意味しています。

本年 10 周年を迎える筑波大学出版会も言うまでもなく、広い意味でのメディアであり、学術情報の蓄積から、より積極的な発信が求められる現状を考慮すれば、その将来にわたるメディアとしての機能が重要であることは、論を俟たない。

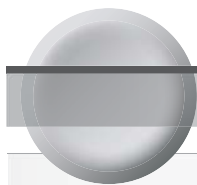
出版会の将来を論ずる際、我々を取り巻く情報化の流れを考慮せざるを得ません。周知のように、情報学そのものは、当初の情報処理・通信という理工学の一分野という時代からは、大きく変貌し、Big Data、AI (Artificial Intelligence)、IoT (Internet of Things) などにその典型がみられるように、今後急速に進行することが予想され、既に情報は本質的な環境の一つになったとされています。「出版会の未来は、単なる情報発信メディアに止まらず、発想を誘発するメディアとして少なからず機能することにあるのでは」と考えています。

あゆみ 刊行書籍と共に

事項	年月	刊行書籍	
出版会設置準備室発足	2006年7月		
出版会設立準備室会議開催	9月		
制作委託契約・ 販売委託契約の締結	2007年3月		
出版会設立	2007年7月		
書籍発行開始	10月	1_ 『危機の神話か 神話の危機か』(伊藤 益 著)	
		2_ 『世界遺産 白川郷』(黒田 乃生 著)	
		3_ 『草原の科学への招待』(中村 徹 編著)	
	2008年1月	4_ 『松尾芭蕉とその門流』(綿抜 豊昭 著)	
	2月	5_ 『イスラームの人間観・世界観』(塩尻 和子 著)	
	3月	6_ 『ノイズとダイアログの共同体』(川那部 保明 編)	
	6月	7_ 『もっと知りたい! 「科学の芽」の世界』 (「科学の芽」賞実行委員会 編)	
初の2刷発行	7月	【2刷】『もっと知りたい! 「科学の芽」の世界』 【2刷】『イスラームの人間観・世界観』(塩尻 和子 著)	
	10月	8_ 『山崩れ・地すべりの力学』(松倉 公憲 著)	
	2009年1月	9_ 『哲学史の劇場』(笹澤 豊 著)	
		10_ 『近代スポーツマンシップの誕生と成長』(阿部 生雄 著)	
	6月	11_ 『教育委員会制度再生の条件』 (堀 和郎、柳林 信彦 共著)	
		12_ 『スポーツの傷害と障害をなくす』(田神 一美 編著)	
	7月	13_ 『企業城下町の都市計画』(中野 茂夫 著)	
	8月	14_ 『水泳パフォーマンスの最新理論』(野村 武男 編著)	
	10月	15_ 『近代中国の書文化』(菅野 智明 著)	
	2010年4月	【2刷】『山崩れ・地すべりの力学』(松倉 公憲 著)	
	5月	16_ 『森林学への招待』(中村 徹 編著)	
	6月	17_ 『もっと知りたい! 「科学の芽」の世界』PART2 (「科学の芽」賞実行委員会 編)	
	7月	【2刷】『もっと知りたい! 「科学の芽」の世界』PART2	
	つくばリポジトリへの登録開始 設立時に遡って登録依頼	9月	
			18_ 『記憶の中のソ連』(ティムール・ダダバエフ 著)



	2011年3月	19_ 『エネルギー効率から見た日本の農業地域』 (仁平 尊明 著)
	5月	20_ 『気概と行動の教育者 嘉納治五郎』 (生誕150周年記念出版委員会 編)
	7月	21_ 『共生と希望の教育学』 (岡本 智周、田中 統治 編著)
初の3刷発行	2012年3月	【3刷】『山崩れ・地すべりの力学』(松倉 公憲 著)
		22_ 『気候システム論』(植田 宏昭 著)
	6月	23_ 『もっと知りたい! 「科学の芽」の世界』PART3 (「科学の芽」賞実行委員会 編)
	9月	24_ 『文化と文化をつなぐ』(浜名 恵美 著)
	11月	25_ 『現代人のための統合科学』(小笠原 正明 他編著)
	2013年1月	26_ 『北米先住民族の文化と主権』(松井 健一 著)
	2月	【2刷】『共生と希望の教育学』 (岡本 智周、田中 統治 編著)
	3月	27_ 『観光戦略としての宗教』(松井 圭介 著)
	6月	28_ 『アメリカ型福祉国家の形成』(佐藤 千登勢 著)
	9月	29_ 『感性認知脳科学への招待』 (感性認知脳科学研究プロジェクト 編)
	10月	30_ 『筑波大学新聞で読む筑波大学の40年』 (福原 直樹、伊藤 純郎 編著)
出版会ポリシー決定	2014年2月	【2刷】『草原の科学への招待』(中村 徹 編著)
初の英文書籍刊行	3月	31_ 『Climate System Study』(植田 宏昭 著)
	7月	32_ 『もっと知りたい! 「科学の芽」の世界』PART4 (「科学の芽」賞実行委員会 編)
	8月	33_ 『サービスサイエンスことはじめ』(高木 英明 編著)
	2015年1月	34_ 『筑波山から学ぶ』(前川 啓治 編)
		35_ 『DEA フレックス総合評価法』(橋本 昭洋 著)
	3月	36_ 『利益相反とは何か』(新谷 由紀子 著)
		37_ 『森林学への招待 [増補改訂版]』(中村 徹 編著)
「翻訳版許諾の取扱い」決定	6月	
企画募集等英訳版・HP掲載	10月	



	2015年10月	38_ 『地域的近代を生きるソロモン諸島』(関根 久雄 著)
初の翻訳許諾 内蒙古大学出版社：中国語 『草原の科学への招待』 (中村 徹 編著)	11月	
		39_ 『巨大地震による複合災害』 (八木 勇治、大澤 義明 編著)
	12月	【2刷】『気候システム論』(植田 宏昭 著)
電子書籍販売委託契約の締結	2016年 2月	
		【2刷】『巨大地震による複合災害』 (八木 勇治、大澤 義明 編著)
出版契約書様式変更 (電子書籍発行への対応)	3月	
		40_ 『土地利用でみるアジアの都市化と自然環境』 (山下 亜紀郎 編著)
初の4刷発行		【4刷】『山崩れ・地すべりの力学』(松倉 公憲 著)
初の電子書籍発行		〔電-1〕『ダイナミック手術テキスト肝臓編』 (筑波大学消化器外科 編)
初の既刊書籍を底本とする 電子書籍発行		〔電-2〕『イスラームの人間観・世界観』(塩尻 和子 著)
初の紙版・電子版同時発行	7月	41 〔電-3〕 『もっと知りたい! 「科学の芽」の世界』PART5 (「科学の芽」賞実行委員会 編)
	10月	42_ 『破壊と再生の歴史・人類学』(伊藤 純郎、山澤 学 編著)
電子書籍販売委託契約の締結 (海外配信対応)	2017年 1月	
プリント・オン・デマンド (POD) 取次委託契約の締結	2月	
初のPOD版発行	3月	《POD-1》『観光戦略としての宗教』(松井 圭介 著)
初の海外配信開始	7月	〔電-1〕『ダイナミック手術テキスト肝臓編』【英語版】
設立10周年記念企画実施 ポスター展：中央図書館 シンポジウム： 大学会館国際会議室	9月	
		43_ 『サービスサイエンスの事記』(高木 英明 編著)
記念セール：学内書籍部 (第2回-1月中旬～2月)	10月	

関係の方々からのメッセージ

吉武博通（名誉教授）

出版会設立準備室室長
初代出版会運営委員会副委員長

出版会設立は、本学のかねてよりの課題だったが、それを強く望む声がある一方で、設立に慎重な意見もあった。研究成果を如何なる形で公表するかは分野によって異なる。幅広い学問分野を有する本学において多様な意見があるのは当然である。その上で、教員の研究成果発信を支援することは大学の重要な役割であるとの考え方にに基づき、設立に向けて準備を加速させることになった。

総務・企画担当副学長として、岩崎洋一学長から設立準備室長を命ぜられたが、学問分野を超えて様々な専門の教員が集まり、知恵を出し合い準備が進められた。

最大の問題は、制作・販売機能を大学が独自に持つのか、既存の事業者へ委託するののかという点であった。理想は独自に持つことかもしれないが、制作・販売のノウハウを獲得するための時間とコスト、大手取次2社に象徴される図書流通の特殊性などを考え、丸善株式会社に制作・販売を委託することにした。また、全学的に一定額の予算を確保し、出版助成を行うこととした。

設立後は、谷川彰英委員長を中心に出版会運営委員会が出版事業の推進を担うことになったが、設立準備から設立後の運営に至るまで、室員や委員を務められた教員の貢献なしに今日を迎えることはなかったであろう。全学のために教員が分野や組織を超えて協力し合うことは本学の最大の強みでもある。筑波大学出版会10年の歩みはその象徴でもある。また、実務を担う事務系職員の貢献も大きかった。教職協働は大学改革の成否の鍵でもある。

国立大学を取り巻く環境はさらに厳しさを増しているが、筑波大学出版会が、次の区切りである20周年に向けて、さらに飛躍・発展することを心から祈りたい。

谷川彰英（名誉教授）

出版会設立準備室副室長
初代出版会運営委員会委員長

筑波大学からの発信のさらなる強化を！

2004(平成16)年に始まった国立大学法人化の最初の5年間、岩崎洋一学長の下、理事(附属学校教育局長)を務めさせていただいた。再任された2年間(2007~2008年)は副学長を兼務することになり、その時期に筑波大学出版会が発足した。出版会設立準備に当たっては吉武博通氏が任に就かれ、初代の出版会運営委員会委員長に私が就任することになった。

以前から筑波大学に出版会が必要であると考えていた私にとっては願ってもない好機であった。近い将来には東大出版会のような独立した組織にすべきだとも考えていた。書店に筑波大学出版会刊行の著書が並ぶだけで、筑波大学発信の重要な機能を果たすことができると確信していた。

筑波大学関係者から出版に対する希望を募り、その実現を支援するという仕事はとても充実して楽しいものだった。2009年から2年間特任教授として編集長を務めた期間も含めると、19冊の本の出版に携わることができた。その1冊1冊に思いが残り、あたかも自分の本であるかのように感じられたこともあった。丸善プラネット株式会社の全面的な支援がなければできなかったことで、心から感謝している。

その後筑波大学出版会の著書が多く出されていることは知っているが、その中に朝永振一郎記念の『もっと知りたい!「科学の芽」の世界』がある。小中高校生を対象とした「科学の芽」賞の企画を立てたのは私だったが、2年毎に出版してきたこの本の書名も私があちこちの書店を回って考え出したものである。

筑波大学の研究実績をより広い世界に発信する拠点として筑波大学出版会がますます充実発展していくことを心より祈念している。

石隈利紀（名誉教授）

伊藤純郎（人文社会系教授）

前出版会運営委員会委員長

前出版会運営委員会副委員長・編集会議編集長

筑波大学の知を世界に届けよう！

2013(平成25)年から3年間、私は永田恭介学長の下、副学長として筑波大学出版会の運営を任された。筑波大学出版会を始められたのが、私が附属学校教育局で指導をいただいた谷川彰英先生であり、身の引きしまる思いで引き受けた。編集長の伊藤純郎先生、松本浩一先生や事務局の方々のおかげで14点の本を刊行するとともに、出版会を少しでも前進させることができたと思う。足跡を4つ紹介する。

第一に筑波大学出版会ポリシーを作成した。「①筑波大学における多様な学問領域および複数領域の融合からの研究成果を発信する、②筑波大学における研究や教育の成果を、社会にわかりやすく伝える、③筑波大学における卓越した出版を助成する、④筑波大学の研究・教育成果を国際的に発信していくため、しばらくの間は、出版は日本語または英語で行う」の4つである。

第二に生命環境系の中村徹先生の『森林学への招待』の中国語版の許諾を中国の大学と契約した。出版会の本が中国で翻訳されて多くの読者を得ることは、筑波大学にとって大きな発信となる。

第三に筑波大学消化器外科編で『ダイナミック手術テキスト肝臓編』を電子版で発行した(iBooksストアで販売)。2017年7月より英語版海外配信を開始している。医学医療系の大河内信弘先生をリーダーとして、システム情報系、図書館情報メディア系の先生方との複数領域の融合チームによる成果の発信である。

そして現在、山海嘉之先生が子どもや若者へのメッセージを送る本が、筑波大学出版会で準備され、私もお手伝いしている。

これからも筑波大学出版会が、筑波大学の知を世界に発信していくことを祈っている。

さらなる飛翔を記念して

谷川彰英副学長(現名誉教授)の要請により、出版会運営委員会委員となったのは、平成21年4月である。最初の2年間は編集会議副編集長、平成23年4月から4年間は編集会議編集長(運営委員会副委員長)をつとめた。

編集長の業務は、運営委員会委員長(担当副学長)との打ち合わせ、ふた月に一回開催される編集会議の進行、企画提案書の審査と出版可否の決定、提出原稿の査読(編集委員2名と専門査読者1名で担当)、丸善プラネットや編集者と価格・発行部数・判型・表紙デザインの決定などの打ち合わせ、帯の文章や宣伝・紹介文の執筆など多岐に及び、学内業務としては結構シンドイものであった。

出版会運営委員会委員であった6年間に出版した書籍は27冊。いずれも筑波大学の「知」を象徴する、学術的な評価の高い良書であり、原稿を査読し編著者にあれこれ注文をつけた著書には感慨も多い。それにしても、年平均で4冊出版したことになる。企画提案書の審査から出版までには最低でも6ヶ月かかることを考えると、企画提案者(編著者)はもちろんのこと、編集委員会委員の先生方や出版会事務局の献身的なご協力があって、初めてなしたことだと思う。

27冊のうち、生誕150周年記念出版委員会編『気概と行動の教育者 嘉納治五郎』と前川啓治編『筑波山から学ぶー「とき」を想像・創造する』には執筆者としても参画し、筑波大学開学40+101周年記念事業として企画された『筑波大学新聞で読む筑波大学の40年』では福原直樹教授(筑波大学新聞編集代表)とともに編者をつとめた。これもまた良い思い出である。

設立10周年記念事業の日にあたり、筑波大学出版会のさらなる飛翔を祈念する。

松本浩一（図書館情報メディア系教授）

岡部幸祐（学術情報部長）

現出版会運営委員会副委員長・編集会議編集長

出版会事務担当部長

編集の仕事

私が出版会の仕事に関わるようになってからすでに8年になる。毎回の編集会議で行われていた、企画の審議、査読と出版の可否の検討、そして後に関わるようになった出版社との打ち合わせなど一連の作業は、最初はどれも大変な作業であるように思えた。出版会の基本的な姿勢・方針についても、読んで理解しているように思っても、出されてくる原稿をそれに即して検討することは慣れないと難しい。当時編集長だった谷川先生の話などを伺いながら、少しずつ理解していったように思う。しかし、図書館情報メディア系教員として、出版され図書となった作品をどのように整理し、必要な情報を組織化して目録などの検索の手段を提供する過程を論じてきたので、著作が図書としての形態をとるに至るまでの過程を体験させてもらうことは、興味深いことであった。

現在、私は学類で、中国図書学を講じているが、図書の形態は時代によって多くの変遷を経てきている。まだ紙がなかった時代の竹や木の札を用いた竹簡・木簡、あるいは絹を用いた帛書という形態から、写本の時代の紙を巻いて巻物にし、紙を折り表紙をつけて本にしていた時代。木版印刷の時代へと移り、いわゆる線装本が主流になった時代。そして近代になって活版印刷の時代になり、今また電子出版の時代を迎えようとしている。出版会でも動画によって表現されたテキストなど、新しい形態が登場している。しかし、図書がどのような形態になろうとも、議論され創造されてきた知識が時間・空間を超えて伝わるという機能は変わることはないだろう。大学で創造された知識・情報の発信ということは、ますます求められるようになってきている。その中で、今後出版会がどのような役割を果たしていくことができるのか、緊張すると同時に楽しみなことでもある。

筑波大学出版会の未来を想像する

筑波大学出版会は創設から早くも10周年を迎えることになった。出版会事務を預かる責任者として、次の10年間、筑波大学出版会の20周年はどうなっているのかを考えてみたい。

この10年で、学術情報流通のあり方は大きく変貌している。少なくとも学術雑誌の世界は電子ジャーナルへの移行が進み、さらにはオープンアクセスジャーナルへの動きも加速している。一方で、学術図書の世界はというと、依然紙での出版が中心でメディアの多様化や学術情報のオープン化への対応はあまり進んではいない。

筑波大学出版会は、「筑波大学の研究とその成果の発表を助成」し、また、「わが国の学術文化の振興に寄与」することを目的としている。そのために出版という形で「先端的、独創的な研究の成果を発信する」「筑波大学の多様な知をわかりやすい形で社会に普及する」ことを行ってきた。今、大学は、イノベーション創出を促すため、研究成果をオープンにすることが求められている。未来志向の筑波大学においてもイノベーション創出は大きなテーマである。幸いにも学術情報部には、学術情報メディアセンターが持つ情報インフラがある。また、附属図書館のつくばリポジトリは、研究情報の発信を行い、研究成果のオープンアクセスを進めている。であれば、電子出版を進め発信のハードルを下げ、より多くの研究成果、本学の知を公開すると共に、知のアーカイブを進めることで、イノベーション創出に寄与することも可能であろう。

20周年には、本学の知の基盤として、教育やイノベーション創出に寄与することが出版会の事業となっている。そんな新しい大学出版のビジネスモデルを実現する筑波大学出版会を目指したい。

執筆された方々から

松倉公憲（名誉教授）

『山崩れ・地すべりの力学 地形プロセス学入門』
(初刊 2008.10.1、4刷 2016.3.10) 執筆者

筑波大学出版会 10 周年記念によせて

土曜日夜 7 時半からの NHK「ブラタモリ」が人気のようです。タモリがブラブラ歩きながら、その土地の自然や人間との関わりを掘り下げる番組です。タモリが「崖」や「坂」などの「地形」が好きということもあり、この番組の影響で地形に興味をもつ一般人も増えているようです。とはいうものの、地形を研究対象とする「地形学」とは一体どんな学問かを知っている人は多くないでしょう。ちなみに、地形学を一言でいえば、「山・川・海などの地形の成り立ちとその変化過程を明らかにする学問」ということになります。たとえば、山は火山活動や地盤の隆起などで形成されますが、その後の氷河や河川、あるいは地すべりや山崩れなどの侵食作用によって解体され低平化されていくことになります。

拙著『山崩れ・地すべりの力学 地形プロセス学入門』は、このような山地の解体を引き起こす地すべりや山崩れのメカニズムの基本を記述したものです。それまで私が担当してきた学部 3 年生対象の講義ノートがベースになっています。本を読むだけ(自習のみ)でも理解できるよう、演習問題を工夫したり、できるだけ平易な説明を心がけたつもりですが、果たしてそのような目論見が成功しているかどうか自信はありません。この本を筑波大学出版会から出していただいたのは、私の定年退職の 1 年半ほど前の 2008 年秋のことでした。私にとっては初めての単著本でしたので経験不足のことが多く、その分、出版会の先生方・事務局の皆様大変お世話になりました。この場を借りてあらためて御礼申し上げます。幸いなことにその後増刷を繰り返し、現在 4 刷になっていますので、少しは恩返しができるのかなと思っております。出版会が 10 周年を迎えられたことを祝し、出版会のさらなる発展を祈念いたします。

中村 徹（名誉教授）

『草原の科学への招待』(初刊 2007.10.1、
2刷 2014.2.20、中国語版翻訳許諾 2015.11.5)
『森林学への招待』(初刊 2010.5.20、増補改訂版
2015.3.20) 執筆者

筑波大学出版会 10 周年誠におめでとうございます

わたしは筑波大学出版会から二冊の本を出版していただきました。出版会設立最初の本の一つとして『草原の科学への招待』、そして姉妹版の『森林学への招待』です。いずれも大学の総合科目の教科書として、総合科目の講義担当の先生方に執筆していただいた本です。総合科目「草原」は、最近わが国で見ることのなくなった草原について、その成り立ちや歴史、絶滅危惧物との関係や地形・水分との関連についてそれぞれ専門の先生が説き起こします。教科書『草原の科学への招待』もしかりです。草原は日本ではなじみがないので、受講生も少ないかなという心配は杞憂に終わり、毎年 200 名からの学生が受講します。

総合科目「森林」も学生たちに好評で、毎年多くの学生が聴講します。自然科学・人文科学に加え芸術の先生にもご講義いただき、多様な内容にやはり教科書があった方がいいだろうと『森林学への招待』を出版していただきました。

出版会の歴代の編集委員長に加え多くの編集委員の先生方にお世話になりました。

2 冊ともまあまあ売れたようで、「草原」は友人の中国人研究者から「中国語に翻訳して出版したい」との要望が出て、内蒙古大学出版から中国語版『草原科学概論』が出ました。また、わたしが定年退職して講義担当が若干変わったことで、「森林」は増補改訂版が出版されました。いずれも、そのたびに出版会の方々には大きなお力添えをいただきました。

わが国は森林国であり、国民の関心も高いので森林関係の書籍は多数出版されています。書店に行っても、『森林学への招待』は類書の中から容易に発見できるのですが、『草原の科学への招待』はどの書店も置き場がないのか、なかなか見つけることができません。細々でも売れ続け、多くの方に興味を持っていただけたら望外の喜びです。

塩尻和子（名誉教授）

『イスラームの人間観・世界観』（初刊 2008.2.29、
2刷 2008.7.15、電子版 2016.3.28）執筆者

感謝をこめて

私を「世に出して」下さった筑波大学出版会に、10周年記念をお祝いし、さらなる発展を心からお祈りいたします。

この著書は、私の定年退職に合わせて、出版会第2回の企画に乗せていただいたものです。我が国では数少ないイスラーム神学思想の専門家として、また世界の宗教間対話や平和的共存を願う市民として、主として9世紀から12世紀の古典文献を読み解きながらまとめたもので、「イスラーム関係の書籍は売れない」という不安感もある中で、出版していただいたことを思い出します。幸いにも、出版後は大手新聞に書評が掲載されるなど、各所から身に余る評価をいただき、出版会には多少ともご恩返しできたかと思えました。イスラームの宗教思想や倫理思想、死生観、宗教間対話などをまとめたもので、時流に流されない著作になったと、今更ながら、出版会の大決断に感謝しております。お陰でその後、執筆依頼が相次いで、現在までに単著・共著合わせて40冊近くの著作を出版してきました。まさに出版会は私を「世に出して」下さったのです。

今日、歴史の転換期なのか、世界中で政治的にも思想的にも、落ち着かない時代を迎えています。とくに各地でイスラーム教徒の過激派集団による暴力事件が増えてきていることは、とても悲しいことです。それによって、宗教としてのイスラームと権力闘争とを簡単に結びつける皮相的な見解が横行していますが、本書が、キリスト教や仏教と同様に、「宗教思想の深淵とはなにか」を客観的に真摯に考える、数少ない著作となっていることは事実だと思います。最近、読後の感想とミスプリの指摘を送ってくださった熱心な読者がいることがわかり、もっと気を引き締めて上を目指した研究を続けなければと、背中を押されたように思いました。

松井圭介（生命環境系教授）

『観光戦略としての宗教』（初刊 2013.3.15、POD刷 2017.3.30）執筆者

このたびは筑波大学出版会が10周年を迎えましたこと、心よりお祝い申し上げます。

拙著『観光戦略としての宗教—長崎の教会群と場所の商品化—』（2013年）を上梓することができたのも、ひとえに出版会に関わる皆様方のおかげであります。なかでも当時編集部におられた久保田氏と安田氏には、記述内容に関わる事実確認から、文章表現、レイアウト、紙質やインクの選定にいたるまで、有益かつ真摯なご対応を頂きました。私にとって本書ほど編集者と一体となって創り上げた出版経験はありません。

拙著は幸いにも学界関係者のみならず、自治体関係者、学生や市民の方々にも購入頂き、POD（プリントオンデマンド）版による増刷の機会を得ました。拙著には教会や集落の景観写真が数多く所収されており、価格を抑えたままカラー印刷を可能とするPOD版による出版は大変魅力的なご提案でした。「長崎の教会群」は、2007年に世界文化遺産の暫定登録リスト入りして以降、メディアへの露出も大幅に増え、観光客も増加しました。一方で宗教的な祈りの場が商品化されることにより、信徒や教会関係者を含む地域社会にも新たな問題が生じています。世界遺産登録の成否も含めて、現在進行形で展開するテーマであり、統計等の新しい情報を加えて刊行できましたことは大きな喜びであり、研究者冥利に尽きるものであります。ここでも編集をご担当いただいた飯塚氏と影山氏には大変お世話になりました。

筑波大学出版会の使命は、本学関係者による学術研究の成果を広く公開し、学界のみならず社会へとその成果を発信していくことにあると言えるでしょう。

末筆になりますが、筑波大学出版会のさらなる発展を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

刊行書籍案内

筑波大学出版会

University of Tsukuba Press

2017

人文社会・教育系

哲学史の劇場 プラトンからヘーゲルまで

笹澤 豊 著 本体 3100 円＋税 ISBN978-4-904074-08-4

ノイズとダイアログの共同体 市民社会の現場から

川那部保明 編 本体 11500 円＋税 ISBN978-4-904074-05-3

危機の神話か 神話の危機か 古代文芸の思想

伊藤 益 著 本体 2500 円＋税 ISBN978-4-904074-00-8

イスラームの人間観・世界観 宗教思想の深淵へ

塩尻和子 著 本体 2800 円＋税 ISBN978-4-904074-04-6

2刷
電子版
紙版

土地利用でみるアジアの都市化と自然環境

山下垂紀郎 編著 本体 3300 円＋税 ISBN978-4-904074-39-8

北米先住民族の文化と主権

松井健一 著 本体 3400 円＋税 ISBN978-4-904074-25-1

エネルギー効率から見た日本の農業地域

仁平尊明 著 本体 4400 円＋税 ISBN978-4-904074-18-3

観光戦略としての宗教 長崎の教会群と場所の商品化

ISBN978-4-904074-44-2
松井圭介 著 本体 2800 円＋税 ISBN978-4-904074-26-8

POD版
紙版

破壊と再生の歴史・人類学

自然・災害・戦争の記憶から学ぶ
伊藤純郎・山澤 学 編著 本体 2800 円＋税 ISBN978-4-904074-41-1

記憶の中のソ連 中央アジアの人々の生きた社会主義時代

ティムール・ダダバエフ 著 本体 3800 円＋税 ISBN978-4-904074-16-9

地域的近代を生きるソロモン諸島

紛争・開発・「自律的依存」
関根久雄 著 本体 3400 円＋税 ISBN978-4-904074-37-4

利益相反とは何か

どうすれば科学研究に対する信頼を取り戻せるのか
新谷由紀子 著 本体 2700 円＋税 ISBN978-4-904074-35-0

筑波大学新聞で読む筑波大学の40年

福原直樹・伊藤純郎 編著 本体 1800 円＋税 ISBN978-4-904074-29-9

アメリカ型福祉国家の形成

1935年社会保障法とニューディール
佐藤千登勢 著 本体 3200 円＋税 ISBN978-4-904074-27-5

筑波山から学ぶ「とき」を想像・創造する

前川啓治 編 本体 2900 円＋税 ISBN978-4-904074-33-6

松尾芭蕉とその門流 加賀小松の場合

綿抜豊昭 著 本体 1900 円＋税 ISBN978-4-904074-03-9

気概と行動の教育者 嘉納治五郎

生誕150周年記念出版委員会 編
本体 2800 円＋税 ISBN978-4-904074-19-0

共生と希望の教育学

岡本智周・田中統治 編著 本体 3200 円＋税 ISBN978-4-904074-20-6

2刷

教育委員会制度再生の条件

運用実態の実証的分析に基づいて
堀 和郎・柳林信彦 共著 本体 3900 円＋税 ISBN978-4-904074-11-4

自然科学・工学・芸術・体育系

感性認知脳科学への招待

筑波大学感性認知脳科学研究プロジェクト 編
本体 2800 円＋税 ISBN978-4-904074-28-2

森林学への招待【増補改訂版】

中村 徹 編著 本体 2200 円＋税 ISBN978-4-904074-36-7
初版本完売御礼 本体 1900 円＋税 ISBN978-4-904074-15-2

もっと知りたい!「科学の芽」の世界 PART 5

「科学の芽」賞実行委員会 編 電子書籍同時発行
本体 1900 円＋税 ISBN978-4-904074-40-4
[PART 1]: 本体 1600 円＋税 ISBN978-4-904074-06-0 (2刷)
PART 2: 本体 1800 円＋税 ISBN978-4-904074-17-6 (2刷)
PART 3: 本体 1800 円＋税 ISBN978-4-904074-23-7
PART 4: 本体 1800 円＋税 ISBN978-4-904074-32-9

現代人のための統合科学 ビッグバンから生物多様性まで

小笠原正明 他 編著 本体 3500 円＋税 ISBN978-4-904074-22-0

草原の科学への招待

中村 徹 編著 本体 1600 円＋税 ISBN978-4-904074-02-2 (2刷)

巨大地震による複合災害

八木勇治・大澤義明 編著 発生メカニズム・被害・都市や地域の復興
本体 2900 円＋税 ISBN978-4-904074-38-1 (2刷)

気候システム論 グローバルモンスーンから読み解く気候変動

植田宏昭 著 本体 3000 円＋税 ISBN978-4-904074-21-3 (2刷)
【英文版】Climate System Study - Global monsoon perspective -
JPYen 3,500; ISBN978-4-904074-31-2

山崩れ・地すべりの力学 地形プロセス学入門

松倉公憲 著 本体 2500 円＋税 ISBN978-4-904074-07-7 (4刷)

DEAフレックス総合評価法 社会システム分析への適用

橋本昭洋 著 本体 2900 円＋税 ISBN978-4-904074-34-3

企業城下町の都市計画 野田・倉敷・日立の企業戦略

中野茂夫 著 本体 5200 円＋税 ISBN978-4-904074-10-7

サービスサイエンスの事記

データサイエンスと数理科学の融合に向けて
高木英明 編著 本体 3900 円＋税 ISBN978-4-904074-45-9 (新刊)

サービスサイエンスことはじめ

数理モデルとデータ分析によるイノベーション
高木英明 編著 本体 3100 円＋税 ISBN978-4-904074-30-5

世界遺産 白川郷 視線の先にあるもの

黒田乃生 著 本体 2500 円＋税 ISBN978-4-904074-01-5

近代中国の書文化

菅野智明 著 本体 3200 円＋税 ISBN978-4-904074-14-5

文化と文化をつなぐ シェイクスピアから現代アジア演劇まで

浜名恵美 著 本体 3000 円＋税 ISBN978-4-904074-24-4

水泳パフォーマンスの最新理論

野村武男 編著 初版本完売御礼 本体 3800 円＋税 ISBN978-4-904074-13-8

スポーツの傷害と障害をなくす 指導者の心得

田神一美 編著 本体 1400 円＋税 ISBN978-4-904074-12-1

近代スポーツマンシップの誕生と成長

阿部生雄 著 本体 4400 円＋税 ISBN978-4-904074-09-1

ダイナミック手術テキスト 肝臓編

筑波大学消化器外科 編 3D-CG ハイパーメディアテキスト
Dynamic Surgery Textbook of Liver 9800 円(税込) (iBooks版)

こと わけ サービスサイエンスの事記

データサイエンスと数理科学の融合に向けて

高木 英明 編著



既刊『サービスサイエンスことはじめ』に続き、サービスの現場における人的資源に代わるデータと数理のサイエンスを、大学理工系1年生程度の線形代数、統計、微積分で解説します。ブラックボックスとなっている最先端ソフトウェアも、仕組みを理解して使うことで、活用できます。

主な話題：データの類似度評価、異常検知、
多次元尺度構成法、クラスター分析、
ロジスティック回帰、Cox 回帰、
ウェブページのランキング、
包絡分析法 (DEA)、
レベルニューマネジメント。

2017年9月30日初版

A5判並製 352頁
本体 3,900円+税
ISBN978-4-904074-45-9 C3063

【目次】

はしがき

- 第1章 ビッグデータと人工知能の近未来
 - 第2章 データの類似度と多次元尺度構成法
 - 第3章 分かるために分けるクラスター分析
 - 第4章 ロジスティック回帰とCox回帰
 - 第5章 ウェブページのランキング
 - 第6章 個性尊重のDEA業績評価
 - 第7章 戦略的レベニューマネジメント
- 索引

姉妹書 好評発売中

サービスサイエンスことはじめ

数理モデルとデータ分析によるイノベーション

本体 3,100円+税

A5判並製 360頁

ISBN978-4-904074-30-5 C3063

高木 英明 編著



2014年8月20日初版

関連書 好評発売中

DEAフレックス総合評価法

社会システム分析への適用

本体 2,900円+税

A5判並製 152頁

ISBN978-4-904074-34-3 C3033

橋本 昭洋 著



2015年1月20日初版

ダイナミック手術テキスト 肝臓編

販売ストア：iBooks

筑波大学消化器外科 編



2016年3月18日発行

これまでの古典的手術書と徒弟制度による外科学教育を根底から改革する。ITを活用した次世代型3D-3D手術ハイパーメディアテキスト。

閲覧条件：iBooks 2以降
iOS 5以降を搭載したiPad
iOS 8.4以降を搭載したiPhone
OS X 10.9以降を搭載したMac

ISBN978-4-904074-42-8【日本語版】

ISBN978-4-904074-43-5【英語版】 2017年7月 海外配信開始

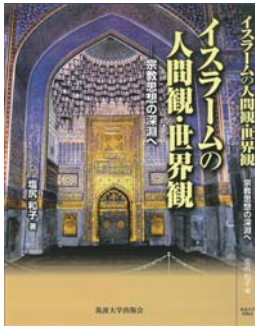
46頁（動画等49点有）価格9,800円（税込）

冊

イスラームの人間観・世界観 宗教思想の深淵へ

販売ストア：DIGITAL e-hon
：KNOWLEDGE WORKER
：Maruzen eBook Library

塩尻 和子 著



2016年3月28日発行

比較宗教学分野の第一人者である著者が、イスラーム古典神学思想と比較宗教学研究を通して、イスラームの普遍的な人間観と世界観を明らかにする学術書。読みやすい文体でイスラーム宗教思想の深淵を解説。宗教的理想と歴史的現実とを混同することなく、客観的な立場から今日のイスラームを理解するための手引きともなる。新たな異文化理解に貢献する教養書としても最適な一冊。

底本 2008年2月29日 ISBN978-4-904074-04-6 を電子版で追加発行

336頁 本体2,800円+税

冊

もっと知りたい！「科学の芽」の世界 PART5

販売ストア：DIGITAL e-hon
：KNOWLEDGE WORKER
：Maruzen eBook Library

「科学の芽」賞実行委員会 編



2016年7月25日発行

「ふしぎだと思うこと、これが科学の芽です」で始まるこの言葉は、ノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎先生が残された言葉です。「科学の芽」賞の第9回と第10回の受賞作品と筑波大学の科学者からのメッセージ、さらに「科学の芽」賞10年を振り返り、歴代受賞者からいただいたアンケート結果を収載。夏休みの自由研究のヒントや研究のやり方が満載。生徒、保護者、理科教員だけでなく、自由研究を指導する担任の先生、これから教員を目指す方にもお薦め。

底本 2016年7月25日 ISBN978-4-904074-40-4 を電子版で同時発行

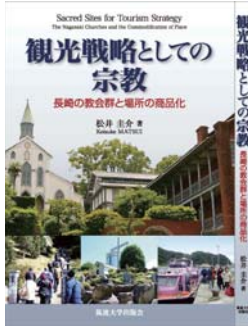
232頁 本体1,900円+税

冊

観光戦略としての宗教 長崎の教会群と場所の商品化

2017年3月30日 POD版発行

松井 圭介 著



2013年3月15日初版

現在、世界は聖地に満ちあふれている。場所の魅力を発見し聖地を創造するという試みは、全国各地の自治体における、観光まちづくりや地域振興の実践にあたっての重要な地域課題である。聖地創造の仕掛けやホスト側の対応を通して、宗教空間がいかに観光資源と化されているのか、さらに場所の商品化の課題は何かについて、長崎県におけるキリシタンを事例に考察。

50点以上の写真をカラーで収載したオンデマンド版 (Amazon) も追加発売。

POD版 A5判 206頁 本体 2,800円+税 ISBN978-4-904074-44-2
A5判並製 204頁 本体 2,800円+税 ISBN978-4-904074-26-8 C1026

冊

破壊と再生の歴史・人類学 自然・災害・戦争の記憶から学ぶ

伊藤 純郎・山澤 学 編著



2016年10月7日初版

自然、災害、戦争。——グローバルな現代文明を生きる私たちは、さまざまな「破壊」に直面し、「再生」への道を求めている。しかし同じような状況は、変革期と称する過去の時代にも、たびたび出現していた。歴史学・人類学の視点で、古墳時代から現代までに起こった「破壊」の状況と形態、そして、新たな未来を構想し、「再生」へと導いた先人の知性と社会秩序のあり方まで視野に入れ検証している。今を生きる私たちに課せられた諸問題を考える手がかりとなる一冊。

A5判並製 224頁 本体 2,800円+税 ISBN978-4-904074-41-1 C1020

冊

もっと知りたい！「科学の芽」の世界 PART5

2016年7月25日電子版同時発行

「科学の芽」賞実行委員会 編



2016年7月25日初版

「ふしぎだと思うこと、これが科学の芽です」で始まるこの言葉は、ノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎先生が残された言葉です。「科学の芽」賞の第9回と第10回の受賞作品と筑波大学の科学者からのメッセージ、さらに「科学の芽」賞10年を振り返り、歴代受賞者からいただいたアンケート結果を収載。夏休みの自由研究のヒントや研究のやり方が満載。生徒、保護者、理科教員だけでなく、自由研究を指導する担任の先生、これから教員を目指す方にもお薦めのシリーズ。PART1~4も好評発売中。

B5判並製 232頁 本体 1,900円+税 ISBN978-4-904074-40-4 C0040

冊

土地利用でみるアジアの都市化と自然環境

山下 亜紀郎 編著



主にアジアの7都市(東京・大阪・ソウル・台北・バンコク・ジャカルタ・マニラ)を対象に、20世紀の初頭、半ば、および2000年頃の3時期について土地利用メッシュデータを作成している。そのデータをもとに、20世紀の100年間という時間スケールで、都市の空間的發展過程と地形・大気・水といった自然環境との相互関係について追究。

2016年3月10日初版

A5判並製 184頁 本体 3,300円+税 ISBN978-4-904074-39-8 C3025

冊

山崩れ・地すべりの力学 地形プロセス学入門

2016年3月10日4刷発行

松倉 公憲 著



山崩れ、地すべりがなぜ起こるか、そのメカニズムをやさしく解説した入門書。斜面プロセスの基本となる岩石・土の物性を解説した上で、斜面プロセスにまつわる斜面安定解析の方法について、実際の解析例を提示しながら、説明を加えている。自習書・参考書としても活用できるよう演習問題も含めるなど地球科学を専攻する学生だけでなく、砂防や土木・地盤災害関係者必携の書。

2008年10月1日初版

A5判並製 176頁 本体 2,500円+税 ISBN978-4-904074-07-7 C3044

冊

巨大地震による複合災害 発生メカニズム・被害・都市や地域の復興

2016年2月29日2刷発行

八木 勇治・大澤 義明 編著



日本は地震大国です。日本に住んでいる限り、巨大地震と複合的な要因で拡大していく災害から逃れることはできません。東日本大震災で何が起きたのか、もしくは起こっているのかについて理解するために、巨大地震の発生メカニズムから、地震や津波被害、今後の復興の課題について取り扱っています。「巨大地震による複合災害」を受け止めなければならない場合のリスクマネジメントと統合的な方策を提示。

2015年11月25日初版

A5判並製 224頁 本体 2,900円+税 ISBN978-4-904074-38-1 C3044

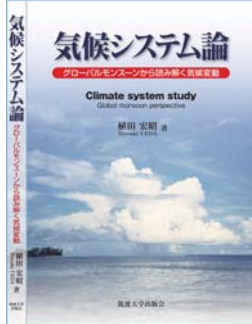
冊

気候システム論

グローバルモンスーンから読み解く気候変動

2015年12月10日2刷発行

植田 宏昭 著



2012年3月25日初版

猛暑、豪雪、集中豪雨…異常気象は、なぜ起こるのか。これからの気候はどうなっていくのか。それらを読み解くためには、地球規模の気候システムの中で複雑に影響しあっている大気や海洋、陸面などの様々なサブシステムを理解することが必要である。最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説。

英語版 : Climate System Study

2014年3月25日初版

A5判変上製 228頁 本体 3,500円+税 ISBN978-4-904074-31-2 C3044

A5判並製 248頁 本体 3,000円+税

ISBN978-4-904074-21-3 C3044

冊

地域的近代を生きるソロモン諸島

紛争・開発・「自律的依存」

関根 久雄 著



2015年10月24日初版

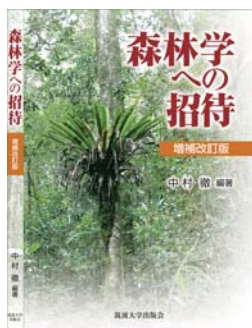
近代的状況に向き合う南太平洋ソロモン諸島の人々と社会のリアリティを描きだす。彼らは、資本主義を拒否するわけでもなく、西洋的普遍主義を殊更に嫌悪しているわけでもない。反近代でも前近代でも、脱近代でもない「ソロモン諸島の近代」の様相を導く理論を、人類学的視野から明らかにする。西洋近代化を指向する近代社会の一般的潮流の中から派生してきた「抵抗」の姿を、7つのキーワードをたよりに解説。

A5判並製 198頁 本体 3,400円+税 ISBN978-4-904074-37-4 C1036

森林学への招待 増補改訂版

2010年5月20日発行の増補改訂版

中村 徹 編著



2015年3月20日初版

世界の森林に何がおきているのか。その実態に迫る。森の遷移、水と土壌、森林のDNA、地球温暖化と森林、などの視点で、森林の本質をわかりやすく解説。日本を含む東アジアを俯瞰した森林植生の面白さ、近年の気候変動と森林の変化、生態系サービスと森林といったトピックスを盛り込んでいる。自然科学だけでなく文学や芸術の視点も加えたユニークな本になっている。森林学の専門家のみならず、幅広い読者にお勧めしたい一冊。

A5判並製 176頁 本体 2,200円+税 ISBN978-4-904074-36-7 C3040

利益相反とは何か

どうすれば科学研究に対する信頼を取り戻せるのか

新谷 由紀子 著



2015年3月20日初版

A5判並製 154頁 本体 2,700円+税 ISBN978-4-904074-35-0 C3036

冊

医療関係者や研究者の倫理観欠如や認識不足が引き起こした問題が、近年、クローズアップされている。日本社会では、とりわけ組織の利益や存続が優先されるあまり「利益相反」の問題が深刻化するという特徴がある。しかし、「利益相反」の何たるかを正しく理解している者は、残念ながら極めて少数である。活発な研究を行えば生じることのある「利益相反状態」を「避ける」のではなく、「適切にマネジメントする」ことの重要性について、具体例を交えて解説。

DEA フレックス総合評価法

社会システム分析への適用

橋本 昭洋 著



2015年1月20日初版

A5判並製 152頁 本体 2,900円+税 ISBN978-4-904074-34-3 C3033

冊

価値観が多様化した現代社会では、物事の総合評価に重要な、ウェイトの決定が極めて困難である。そこで、評価対象ごとに都合のよいウェイトを用いる総合評価を DEA(データ包絡分析)という手法により考える。DEA が元来の効率分析から社会システム分析全般にまで適用できることを示し、その基本理念を解説するとともに、都道府県の QOL(生活の質)分析、野球打者評価、一芸入試選抜における多教科の得点評価などのユニークな適用事例を紹介。

筑波山から学ぶ

「とき」を想像・創造する

前川 啓治 編



2015年1月20日初版

A5判並製 194頁 本体 2,900円+税 ISBN978-4-904074-33-6 C1039

冊

万葉集に 25 種もの歌が収められている筑波山の歴史、民族、経済、地域づくりについてわかりやすくまとめている。「環筑波山文化圏」という観点から、筑波山の来し方と行く末を想像・創造してみましよう。カバー裏の「筑波山麓フットパス・マップ」を手に四季折々の筑波山を訪れると時間を越えた空間が体験できることでしょう。

2016年 筑波山地域ジオパーク認定

サービスサイエンスことはじめ

数理モデルとデータ分析によるイノベーション

高木 英明 編著



2014年8月20日初版

今日の産業は、工業製品のものづくりから、サービスのことづくりに転換している。その中で、科学的・工学的手法により、生産性向上とイノベーションを牽引するのがサービスサイエンスである。サービスシステムにおける顧客と従業員の満足度評価や最適設計の基礎となる、数理モデルとデータ分析の方法を豊富な応用例とともに独習できる書。

姉妹書 2017年9月30日刊行

ことわけ
サービスサイエンスの事記

ーデータサイエンスと数理科学の融合に向けて

A5判並製 360頁 本体 3,100円+税 ISBN978-4-904074-30-5 C3063

冊

もっと知りたい！「科学の芽」の世界 PART4

「科学の芽」賞実行委員会 編



2014年7月10日初版

B5判並製 252頁 本体 1,800円+税 ISBN978-4-904074-32-9 C0040

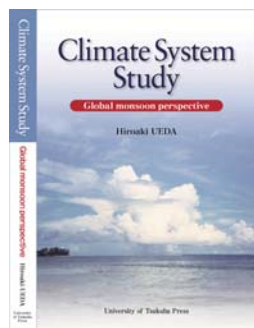
「科学の芽」賞は、ノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎先生の思いを受け継ぎ、「児童生徒のみなさんに不思議に思う気持ちを深め、科学について興味や関心を持ち続けて欲しい」と願って作られた賞。第7回と第8回の受賞作品と筑波大学の科学者からのメッセージを収載。自由研究の参考に、子どもたちだけでなく、保護者、教員、教員志願者にPART1から最新刊まであわせてお薦め。

冊

Climate System Study

Global monsoon perspective

Hiroaki UEDA 著



2014年3月25日初版

猛暑、豪雪、集中豪雨…異常気象は、なぜ起こるのか。これからの気候はどうなっていくのか。それらを読み解くためには、地球規模の気候システムの中で複雑に影響しあっている大気や海洋、陸面などの様々なサブシステムを理解することが必要である。最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説。

日本語版：気候システム論

2012年3月25日初版

A5判並製 248頁 本体 3,000円+税 ISBN978-4-904074-21-3 C3044

A5判変上製 228頁 本体 3,500円+税 ISBN978-4-904074-31-2 C3044

冊

草原の科学への招待

2014年2月20日2刷発行

中村 徹 編著



草原は、地球の全陸地面積の3分の1を占める半乾燥地帯に分布し、植生学上、森林と沙漠の中間とされ、沙漠化が進行している。その草原を、植生・土壌・水循環・環境などのさまざまな切り口から解説し、多数の図版を用いて、専門的な内容を分野ごとにわかりやすく説きあかした。読み物として教科書として、幅広い読者層にお薦めの一冊。

2007年10月1日初版

A5判並製 144頁 本体 1,600円+税 ISBN978-4-904074-02-2 C3040

冊

筑波大学新聞で読む 筑波大学の40年

福原 直樹・伊藤 純郎 編著



「新聞の自由とは批判の自由」。この言葉をモットーに1974(昭和49)年10月26日、創刊された「筑波大学新聞」は、その後も順調に号を重ね2013(平成25)年7月16日に第308号の発行を迎えた。創刊号から第300号(2012年5月14日発行)のなかから100の特筆すべき紙面を選び、歴代の筑波大学新聞編集部員らが当時を振り返り、執筆。「筑波大学新聞」から読み解く、筑波大学の40年の歴史一。

2013年10月1日初版

A4判変並製 228頁 本体 1,800円+税 ISBN978-4-904074-29-9 C0036

冊

感性認知脳科学への招待

筑波大学感性認知脳科学研究プロジェクト 編



「感性って何?」「こころはどこにあるの?」。誰もが抱くこうした疑問を解明するために、心理学、医学、障害科学、そして芸術学の研究者が集結して、学際融合的な研究分野「感性認知脳科学」が生まれた。感性認知脳科学において、これまでに進められてきた研究と教育の活動を、基礎から応用にわたって平易に解説。

2013年9月10日初版

A5判並製 214頁 本体 2,800円+税 ISBN978-4-904074-28-2 C1011

冊

全国の書店、各インターネット書店等でお求めいただけます。(発売元：丸善出版株式会社)

アメリカ型福祉国家の形成

1935年社会保障法とニューディール

佐藤 千登勢 著



1935年、大恐慌で失業者があふれるアメリカで、社会保障法が成立した。伝統的に自助や個人主義が重んじられてきたアメリカで、なぜこの時期に社会保障制度が誕生したのだろうか。またそれは、どのような保障を国民に与えたのだろうか。フランクリン・D・ローズヴェルト大統領が行ったニューディール政策の一環として制定された社会保障法を様々な角度から検討し、アメリカ型の福祉国家の起源を明らかにする。

2013年6月15日初版

A5判並製 246頁 本体 3,200円+税 ISBN978-4-904074-27-5 C3036

冊

共生と希望の教育学

2013年2月20日2刷発行

岡本 智周・田中 統治 編著



「共生」は、グローバル化する社会のマナーであり、希望をつむぐためのツールである。人が「共に生きる」ために、教育ができることは何か？学校における人間関係、組織としての学校、人と社会とのつながりなど、24名の研究者が、多様な観点から論じる。現代社会における人間と教育のあり方を考えるための一冊。

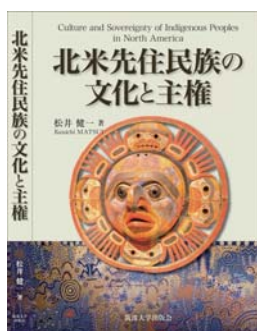
2011年7月30日初版

A5判並製 372頁 本体 3,200円+税 ISBN978-4-904074-20-6 C3037

冊

北米先住民族の文化と主権

松井 健一 著



現在、北米先住民族の文化と主権について知ることの意義は何か？20年以上にわたり北米で先住民族との交流や研究・教育にたずさわった著者の経験を踏まえ、先住民族の主権と文化が密接につながっていることを明らかにする。また、映画や演劇、文学、観光などの大衆文化に残る先住民族への偏見を丹念にたどりながら、現代社会が歩むべき先住民族との和解と共生の道を探る。

2013年1月30日初版

A5判並製 328頁 本体 3,400円+税 ISBN978-4-904074-25-1 C3025

冊

現代人のための統合科学

ビッグバンから生物多様性まで

小笠原 正明・新井 一郎・澤村 京一・杉田 倫明・守橋 健二 編著



2012年11月15日初版

A5判並製 406頁 本体 3,500円+税 ISBN978-4-904074-22-0 C1040

冊

文化と文化をつなぐ

シェイクスピアから現代アジア演劇まで

浜名 恵美 著



2012年9月1日初版

A5判並製 262頁 本体 3,000円+税 ISBN978-4-904074-24-4 C1074

冊

もっと知りたい！「科学の芽」の世界 PART3

「科学の芽」賞実行委員会 編



2012年6月20日初版

B5判並製 248頁 本体 1,800円+税 ISBN978-4-904074-23-7 C0040

冊

全国の書店、各インターネット書店等でお求めいただけます。(発売元：丸善出版株式会社)

気概と行動の教育者 嘉納治五郎

生誕 150 周年記念出版委員会 編



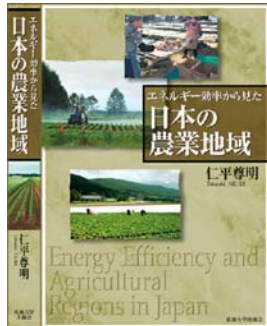
2011年5月27日初版

A5判上製 388頁 本体 2,800円+税 ISBN978-4-904074-19-0 C3023

冊

エネルギー効率から見た日本の農業地域

仁平 尊明 著



2011年3月15日初版

A5判上製 338頁 本体 4,400円+税 ISBN978-4-904074-18-3 C3025

冊

記憶の中のソ連

中央アジアの人々の生きた社会主義時代

ティムール・ダダバエフ 著



2010年9月10日初版

A5判上製 288頁 本体 3,800円+税 ISBN978-4-904074-16-9 C3031

冊

もっと知りたい！「科学の芽」の世界 PART2

2010年7月20日2刷発行

「科学の芽」賞実行委員会 編



2010年6月30日初版

B5判並製 256頁 本体 1,800円+税 ISBN978-4-904074-17-6 C0040

冊

森林学への招待

2015年3月20日増補改訂版発行

中村 徹 編著



2010年5月20日初版

A5判並製 156頁 本体 1,900円+税 ISBN978-4-904074-15-2 C3040

冊

近代中国の書文化

菅野 智明 著



2009年10月30日初版

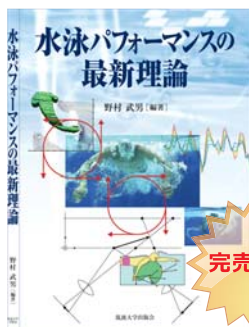
A5判上製 244頁 本体 3,200円+税 ISBN978-4-904074-14-5 C3071

冊

全国の書店、各インターネット書店等でお求めいただけます。(発売元：丸善出版株式会社)

水泳パフォーマンスの最新理論

野村 武男 編著



完売御礼

自然科学的な実験データから水泳パフォーマンスの最新理論に迫る。最速の泳動作解明に不可欠な流体力学から、指導現場におけるコーチングに役立つパフォーマンス評価法、さらに健康維持増進にも効果的な水中運動まで網羅した水泳の自然科学的専門書。パフォーマンスの最適化に挑む、選手・コーチそして研究者に必須な一冊。

2009年8月25日初版

B5判並製 204頁 本体 3,800円+税 ISBN978-4-904074-13-8 C3075

冊

企業城下町の都市計画

野田・倉敷・日立の企業戦略

中野 茂夫 著



2009年7月30日初版

A5判上製 332頁 本体 5,200円+税 ISBN978-4-904074-10-7 C3052

冊

スポーツの傷害と障害をなくす

指導者の心得

田神 一美 編著



2009年6月30日初版

四六判並製 200頁 本体 1,400円+税 ISBN978-4-904074-12-1 C2075

冊

教育委員会制度再生の条件

運用実態の実証的分析に基づいて

堀 和郎・柳林 信彦 共著



2009年6月30日初版

A5判上製 258頁 本体 3,900円+税 ISBN978-4-904074-11-4 C3037

冊

戦後設立された教育委員会制度は廃止論、権限縮小論、改善論などの論議の渦中にある。教育委員会への大規模なアンケート調査と市町村長への面接調査を通じ、現代の教育委員会制度の実態を分析している。学校支援策に取り組む市町村教育委員会の特性とは何か、政策フォーラムとして機能する教育委員会議を支える要因は何か、首長と教育委員会との関係構造はどのようなものか、の三つの観点から、「教育の地方自治機構」の中心的な担い手であるべき市町村教育委員会の再生の条件を提言。

近代スポーツマンシップの誕生と成長

阿部 生雄 著



2009年1月30日初版

A5判並製 352頁 本体 4,400円+税 ISBN978-4-904074-09-1 C3075

冊

イギリススポーツの形成と共に成長を遂げたスポーツマンシップの用語の変遷を追う。近代スポーツとその揺籃となったパブリックスクール教育とアスレティズム、筋肉的キリスト教の役割を明らかにし、その精神が近代オリンピックの創設者クーベルタン、競技道の唱道者武田千代三郎に継承されていく経緯に言及する。スポーツが人間修養の優れた手段であり、スポーツマンが常に善を追求する存在であるとする、スポーツマンシップの誕生と成長を解明した画期的労作。

哲学史の劇場

プラトンからヘーゲルまで

笹澤 豊 著



2009年1月30日発行

四六判並製 304頁 本体 3,100円+税 ISBN978-4-904074-08-4 C1010

冊

哲学というととかく難しく分かりにくいように思われがちだが、哲学者には、まずはじめにイメージがあり、述語による概念化はそのあとのことだと著者は言う。さまざまな哲学者が差し出した寓意や比喩を蒐集し、それらをもとにイメージの系譜学とでもいうべきものを作ろうとしたのが本書である。プラトンからヘーゲルまでの哲学の歴史を徹底的に噛み砕き、しかも原典に忠実に解説。分かりやすい哲学史の概説書。

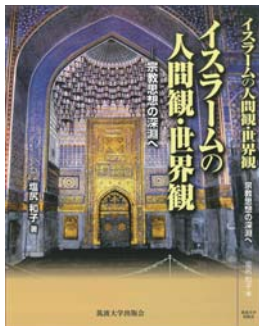
イスラームの人間観・世界観

宗教思想の深淵へ

2016年3月28日電子版発行

2008年7月15日2刷発行

塩尻 和子 著



2008年2月29日初版

比較宗教学分野の第一人者である著者が、イスラーム古典神学思想と比較宗教学研究を通して、イスラームの普遍的な人間観と世界観を明らかにする。読みやすい文体でイスラーム宗教思想の深淵を解説しており、新たな異文化理解に貢献する教養書としても最適な一冊。

電子版販売ストア : DIGITAL e-hon
: KNOWLEDGE WORKER
: Maruzen eBook Library

A5判並製 336頁 本体 2,800円+税 ISBN978-4-904074-04-6 C3014

冊

もっと知りたい! 「科学の芽」の世界

2008年7月10日2刷発行

「科学の芽」賞実行委員会 編



2008年6月30日初版

日本で二番目にノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎先生の「科学の芽」という言葉をもとに作られた「科学の芽」賞。科学の力を大きく伸ばしていくためには、「ふしぎだと思ふこと」が大切です。今、日本の子どもたちの理科離れが言われていますが、ここに収載した作品には「科学の面白さ・奥深さ」があります。日本の将来に自信が持てる作品集です。小学生・中学生・高校生はもちろん、先生や保護者、これから教員を目指す方にもお薦め。

B5判並製 218頁 本体 1,600円+税 ISBN978-4-904074-06-0 C0040

冊

ノイズとダイアローグの共同体

市民社会の現場から

川那部 保明 編



2008年3月31日初版

芸術、情報、思想、そして日々の生活に潜勢する、ざわめきの数々。記憶と夢想と想念から立ちのぼり、人々の集合体に市民社会というかたちをとらせようとノとらせまいとして胎動するものの現場に、人文諸科学の視点から鋭く迫る。ノイズからダイアローグへ、ダイアローグから共同体への、迷路のごとき道のり。

A5判上製 560頁 本体 11,500円+税 ISBN978-4-904074-05-3 C3010

冊

松尾芭蕉とその門流 加賀小松の場合

綿拔 豊昭 著



芭蕉が歩いた道に新たな「文化」が生まれる。その一事例を『奥の細道』に記された「加賀国小松」にとり、その「芭蕉文化」と言うべきものの広がりや歴史を、豊富な一次資料と先行研究を基に実証した。芭蕉研究・『奥の細道』研究に一石を投じる。公共図書館・大学図書館に必須。

2008年1月31日初版

四六判並製 210頁 本体 1,900円+税 ISBN978-4-904074-03-9 C1092

冊

世界遺産 白川郷 視線の先にあるもの

黒田 乃生 著



石見銀山が世界遺産に登録されて、我が国もちょっとした世界遺産ブームである。その走りともいえるのが、白川郷・五箇山の合掌造り集落である。手の平を合わせた形をした合掌造りを見ると、日本文化のすごさと深さを感じる。長年白川郷を研究してきた著者が、観光旅行者・生活者・研究者などのさまざまな「まなざし」から白川郷の「先」にあるものを探った。日本の文化と世界遺産に関心をお持ちの方に自信をもってお勧めする一冊。

2007年10月1日初版

四六判並製 268頁 本体 2,500円+税 ISBN978-4-904074-01-5 C3065

冊

危機の神話か 神話の危機か 古代文芸の思想

伊藤 益 著



『万葉集』や『徒然草』に現れた「滅び」(死)の意識を梃子に、古代人たちと現代人に通じる「危機」の問題を、思想としてまとめ上げた一書。古典文学を学びたい一般の方々から、専門家はもちろん、古代の文芸や思想に関心のある読者に広くお勧めしたい。公共図書館・大学図書館にも必携の書。

2007年10月1日初版

四六判並製 278頁 本体 2,500円+税 ISBN978-4-904074-00-8 C3010

冊

筑波大学出版会 10 周年記念誌の編集を終えて

出版会の 10 周年記念行事の一つとして、シンポジウムで配布する資料も兼ねて「記念誌」を作成することになりました。

原稿作成の過程で「出版会のあゆみ」を見直すと、出版会を担当することとなった 3 年前と電子書籍やプリント・オン・デマンド版等のここ数年の新たな取り組み時の四苦八苦が思い出されました。また、関係の皆様からいただいたメッセージをお読みし、たくさんの方の支えで継続できる出版会であることをあらためて思い直した次第です。

今後とも出版会をよろしく願います。

出版会事務担当

筑波大学学術情報部情報企画課

出版会係長 飯塚桂子

筑波大学出版会 10 周年記念誌

2017 年 9 月 29 日発行

編集・発行 筑波大学出版会運営委員会

〒305-8577

つくば市天王台 1-1-1

TEL 029-853-2050

FAX 029-853-6052



<http://www.press.tuskuba.ac.jp/>